

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Feasibility of endoscopic submucosal dissection for aged patients over 80 years old. 80 歳以上の超高齢者に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)施行状況と安全性の検証
	研究目的	高齢者に対する ESD (内視鏡的粘膜下層剥離術) の機会は年々増加している。しかし、若年者と比較して高齢者では PS 不良や基礎疾患合併を認めることが多く、ハイリスクである可能性も考えられる。当院での症例数推移、偶発症発生頻度などの現状把握を retrospective に行い、偶発症発生症例については PS や基礎疾患などの患者側要因と、病変部位や大きさなどの病変側要因を調査分析することで、偶発症発生のリスク因子を推察し、今後の安全性向上にいかすことを目的とする。
	研究対象者	2006 年 1 月より 2014 年 12 月までの間に、当院で胃癌に対して ESD 施行した、80 歳以上の患者さん
	研究期間	西 暦 2 0 1 5 年 4 月 2 日 ~ 西 暦 2 0 2 2 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	井口靖弘
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科、消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし